

2.3ページ
特集

災害時に感じた日頃のつながりの大切さ



トライやるウィークの生徒が市島地域(前山地区)の復興砂防公園を見学し、地域の方に被災の経験をお話いただきました。(詳しくは2.3ページ)



よりそい・うけとめ・ほっとがへん

社会福祉法人 丹波市社会福祉協議会

- | | | | |
|-------|-------------------|-------|--------------|
| ■本所 | 電話 (0795) 86-7171 | 住所 | 丹波市柏原町柏原2715 |
| ■南部支所 | 72-1236 | ■南部支所 | 山南分室 77-2359 |
| ■西部支所 | 82-4613 | ■西部支所 | 青垣分室 87-0084 |
| ■東部支所 | 74-0477 | ■東部支所 | 市島分室 85-0517 |



丹波市社協
ホームページ

特集

災害時に感じた
日頃のつながりの大切さ



平成 26 年丹波市豪雨災害から今年で 10 年が経ちます。
丹波市社協では過去に 2 回（平成 26 年・30 年）、災害ボランティアセンターを設置し、多くの方によるボランティア活動が行われました。
今年 1 月 1 日には能登半島地震が発生し、多くの方が被災されています。
当手を振り返り、「日頃のつながりの大切さ」についてお話を伺いました。

日頃からお互いを知る・手を差し伸べる努力 ～平成 26 年丹波市豪雨災害で被災の経験から～

当時、自宅が危険な状況となった時、自分・家族を守ることで必死でした。

日頃から自治会内では隣近所のつながりがあったので、雨の中、近所の方が心配して家に来てくださったことを覚えています。

災害の教訓を生かし、自治会では地域内を皆で歩き、危険な場所を共有し、どうしたらよいかアイデアを出し合い、復興に向けた様々な取り組みも行ってきました。

これから私ができる事は、この経験を災害のことを知らない方々へ伝え、つなげていくことです。そして、日頃からお互いを知る努力と手を差し伸べる努力が必要だと思っています。



市島地域 余田 明美さん

人とつながることは命を守ること ～余田さんのお話を聞いて～



余田さんには、トライやるウィークで柏原中学校・氷上中学校から社協に来ている生徒 5 名に、被災の経験をお話いただきました。また、実際に災害のあった場所もご案内いただきました。

【生徒の感想】

- ・知らないことを知ることができ、もっと知りたいと思いました。
- ・丹波市で災害があったことしか知らなかったけど、余田さんに話を聞いて“地域のつながり”を感じました。
- ・人とつながることで命を助けられるのだと学びました。
- ・以前から地域のつながりが大切だと聞いていたけど、何故大切なのか分かりました。

災害ボランティアバスに想いを乗せて ～石川県七尾市での災害ボランティア～



5月25日参加の皆さん



6月1日参加の皆さん

丹波市社協では5月25日・6月1日に石川県七尾市での災害ボランティア活動を行うボランティアバスを運行しました。

参加者・社協職員合わせて合計35名が参加し、七尾市で活動しました。



自分ができることを！

～丹波市災害ボランティアセンターでの経験から～

氷上地域 十倉 利広さん（七尾市での災害ボランティア活動に参加）

丹波市災害ボランティアセンターでのボランティア活動をきっかけに「自分ができることをやりたい!」と思い、災害ボランティア活動を続けています。今では災害ボランティアの活動を通じてつながった仲間たちと活動を各地で行っています。

今回の災害ボランティアバスに参加し、改めて活動の重要性を感じました。

災害時や災害に備えた 社協の取り組み

社協は、市内で災害が発生した際、行政・関係機関・地域の皆さまと協力しながら、被災者・被災地の復旧・復興支援を行うため「災害ボランティアセンター」を設置します。

災害の備え（平常時）

災害ボランティアセンターの設置に向けて

- ▶ 訓練
- ▶ 関係機関・地域・社協との連携体制づくり
- ▶ 災害ボランティア登録
- ▶ 活動資機材の購入

支えあい・つながりのある地域づくり

- ▶ 福祉委員（地域と社協のつなぎ役）との連携
- ▶ 支えあいのしくみづくり
- ▶ ふれあい・いきいきサロンの運営支援
- ▶ 福祉を学ぶ「出張ふくし教室」の実施 等

丹波市の災害時

災害ボランティアセンターの設置・運営

- ▶ 被災地のニーズ収集
- ▶ ボランティアとニーズのマッチング
- ▶ 関係機関・地域との連携
- ▶ 活動資機材の整備
- ▶ 情報の発信

他市の災害時

- ▶ 災害ボランティアセンター運営支援（社協職員を派遣）
- ▶ 災害ボランティアバスを運行・被災者支援
- ▶ 義援金の募集と受付



丹波市社協は、「よりそい・うけとめ・ほっとかへん」支援

災害時には、平常時より困りごとを抱える方が多くなり、皆さんの日頃からの支えあい・つながりが多くの方を助ける力となります。丹波市社協は困りごとに「よりそい・うけとめ・ほっとかへん」をスローガンに、相手の立場に立った支援を行います。

1. 4年ぶりの開催！かすがボランティアまつり



6月1日、丹波市ボランティア協会春日支部主催の「かすがボランティアまつり」が、ボランティア活動の啓発と能登半島地震の復興をテーマに開催されました。コロナ禍を経て4年ぶりの開催となりましたが、7名の中学生ボランティアの皆さんも手伝いに来てくれ、大勢のお客さんと会場が賑わいました！会場にはちーたんの姿も！

春日中学校吹奏楽部の演奏や、シンガーソングライター石田裕之さんの能登半島復興支援コンサートも大盛り上がり♪能登半島地震への義援金も56,522円集まりました。たくさんのご協力と、ご来場いただきました皆さんありがとうございました。

2. 広がるフードドライブの輪

4月16日、新たにザ・ビッグエクストラ氷上店（㈱フジ）様とフードバンク活動等にかかる合意書の調印式を行いました。

丹波市社協では、経済的な理由でお困りの世帯を対象に食料品等をお渡しする「しゃきょうたすけあいフードドライブ」を8月と12月に特設、年間を通じて常設で実施しています。この提携によって、多くの食料品が集まり、より多くのお困りの方々へ支援が行えます。また、障がい者就労支援事業所等への場所の提供等、幅広い活動に対しての合意内容になっています。

その他にも、コープこうべ様、㈱タンパンベルグ様、㈱大森屋様、(特非) eワーク愛媛様とも食支援の合意書を締結しています。

食料支援に関する活動に、ご興味をお持ちいただけましたら丹波市社協にご相談ください。



ちゃれんじスペースは

障がいのある方の就労支援事業所を全力で応援しています！

コープ柏原店内に移転し、リニューアルしたちゃれんじスペースでは、主に市役所から受注した仕事（封入作業、ゴム印押し等）を行っています。



ご利用者の感想



普段は事業所での作業が多いのでちゃれんじスペースでの作業はよい刺激になっています！



指導員さんがとても親切に丁寧に接してくださるので仕事を楽しくできます。

各事業所で作った製品の販売も検討していますので、これからのちゃれんじスペースにご期待ください！



★お知らせ★

ちゃれんじスペースに参画される就労支援事業所を募集しています！
お問い合わせ 介護保険課 電話：86-7171

子育て応援団 / ファミサポ通信

丹波市ファミリーサポートセンターへのお問い合わせは、
電話 70-2244まで

ファミサポ講習会・交流会を開催しています!

ママのための美 YOGA

ママのわ ヨガインストラクター 別納 真紀さん

普段、育児や家事で忙しいママのために『ヨガ』を行いました。硬くなったカラダを伸ばしながら、少しの間ですが、自分と向き合う時間ができました。

終わった後はココロもカラダも軽くなったようです。ママが笑顔になると、子ども達も嬉しそうでした。



親子でリトミック♪



CRESC. ピアノ・リトミック教室主宰
音楽講師 三村 裕子さん

ママと一緒に『リトミック♪』で音楽のリズムに合わせて、自由に体を動かし表現して楽しみました。

子ども達はママに抱っこされて表現するダイナミックな動きに大喜び! ママは体力勝負でしたが、子ども達はニコニコ笑顔いっぱいの交流会になりました。

参加者の感想

何度か交流会に参加しています。今回は親子で音楽に触れられるよい機会だと思って参加しました。皆さんと交流しながら子どもと楽しむことができてよかったです!



堀 紗知さん 伊織くん

日常生活自立支援事業のご紹介

日常生活自立支援事業とは、判断能力が不十分な高齢者や障がいのある方などが地域で安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用などのお手伝いをさせていただく事業です。今回は、事業を利用するまでの一例をご紹介します。

1. そういえば、あれもなかったし、買っておこう。足りなかったら困るし、これも買おう。

2. 前は自分で管理できていたのに、計画的にお金を使えなくなってきた。どうすればいいのかわからない。

3. 社協の担当者がお話を聞きます。お気軽に相談してください。

4. お金の使い道も相談できるし、安心して生活できる。

他にも生活に必要な利用料の支払い手続きなど、ご利用者と相談し、必要な支援を行っています。事業の詳しい内容については、丹波市社協 地域福祉課へお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ 地域福祉課 電話：86-7171

みなさまからの優しさを地域につなぐ

善意銀行 の報告

令和6年5月・6月受付分

善意銀行では、市民の皆さまからの「地域のために使ってほしい」という思いのこもった預託（金銭や物品、技術）をお預かりし、地域福祉のために大切に活用しています。預託の受付は、本所・各支所・分室で受け付けています。皆さまのあたたかい善意をお待ちしています。

*預託内容等の掲載については、本人の意思を確認しています。預託理由については、一部省略しています。
*金銭預託は寄付金控除の対象になります。

本所受付分

【金銭預託】

黒井大槻 佐知子 様 2回
匿名 様 1件

南部支所受付分

【物品預託】

田路上田 様 介護用品
鴨内細見 佐月 様 衣類
匿名 様 1件

南部支所山南分室受付分

【金銭預託】

冒険投資家 岡崎 健一 様 20,000円
丹波市身体障害者福祉協議会山南支部久下地区 様 20,000円
会解散による精算残金

【物品預託】

笹倉 英一 様 車椅子
和田 石塚 正則 様 介護用品

西部支所受付分

【金銭預託】

白菊 様 4,654円
沼 明昌あすなる会 様 2回
横田 足立 道彦 様
常楽 カラオケ喫茶 歌今翔 様

【物品預託】

匿名 様 2件

西部支所青垣分室受付分

【物品預託】

佐治 愛宕・荒神サロン 様 生活雑貨
遠阪 足立 歳勝 様 生活雑貨

東部支所受付分

【金銭預託】

黒井 西田 玲子 様 100,000円
生前からの亡夫西田勝紀様の志として
国領 国領地区戦没者遺族一同 様 (5月)5,000円 (6月) 5,000円
国領地区遺族会を解散したため
匿名 様 1件

【物品預託】

匿名 様 野菜 2回
平松 匿名 様 野菜 4回
多利 和田 豊 様 野菜
野上野 岡田 直樹 様 野菜 3回

東部支所市島分室受付分

【金銭預託】

塩見 康代 様 100,000円
亡夫正宏様の供養として
市島町商工会前山支部 様 14,067円
市島町商工会前山支部解散の為
匿名 様 6,000円

【物品預託】

戸坂 芦田 正吾 様 日用品
上垣 余田 敏 様 米

相談予定カレンダー

- ▶ 相談時間 午後1時～午後4時 (1枠30分)
- ▶ 予約受付 ☎ 86-7171 (土日祝日を除く 午前8時30分～午後5時15分)

弁護士による無料法律相談日の予定です。(予約制)

開催場所	相談日	予約開始日
青垣住民センター	8月13日(火)	7月31日(水)
春日福祉センター	8月27日(火)	8月14日(水)
山南福祉センター	9月10日(火)	8月28日(水)
ライフピアいちじま	9月24日(火)	9月11日(水)
柏原住民センター	10月8日(火)	9月25日(水)
氷上住民センター	10月22日(火)	10月9日(水)

《よろずおせっかい相談所》 市内社会福祉法人で日常の悩みや不安等のさまざまな相談を受け付けています。

みんなのひろば



毎号、テーマに沿ったお便りを募集します！今回のテーマは、「この夏、挑戦してみたいこと」です。ハガキかメールでお送りください。いただいた内容は次号の広報紙に掲載予定です。お送りいただいた方の中から、抽選で5名様にたんば共通商品券を差し上げます。(当選は発送をもってかえさせていただきます)

送付先：

↓ハガキはこちらまで
丹波市社会福祉協議会 みんなのひろば係
(〒669-3309 丹波市柏原町柏原 2715)

↓メールはこちらまで
vc@tambawel.jp

- 内容：①住所 ②名前
③ペンネーム ④年齢
⑤「この夏、挑戦してみたいこと」
⑥「ふくしほっと通信の感想」

お知らせ



柏原福祉センター改修工事に伴う貸館停止について

柏原福祉センターでは、令和6年10月から全館改修工事を予定しています。それに伴い、柏原福祉センターの貸館を一定期間停止させていただきます。施設利用の皆様には、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【貸館停止期間】

令和6年10月1日（火）～令和7年3月31日（月）

※令和6年9月30日（月）までは貸館が利用できます。

※工事の進捗状況によっては、上記の貸館停止期間が延長される可能性がありますので、ご了承ください。

延長の際は、改めてお知らせします。

令和5年度 丹波市社協 事業報告

令和5年度の丹波市社協事業報告は、丹波市社協ホームページ (<https://www.tambawel.jp/>) からご覧いただけます。また、二次元コードからもご覧いただけます。



ご案内

社協が行う講座や事業のご案内です。



しゃきょうたすけあいフードドライブ

しゃきょうたすけあいフードドライブとは.....

地域の皆さまから、ご家庭にある食料品で未開封のものを募り、食料支援を必要とされる方々へ丹波市社協を通じてお渡しする活動です。

食料品の提供にご協力ください

- ▶食料品の受付日時
7月8日(月)～7月25日(木)
午前9時～午後5時（土日祝日は受付できません）
- ▶受付場所
丹波市社協本所・各支所・分室
- ▶受付の物品
食料品（未開封で賞味期限が2024年10月9日以降のもの）、
紙おむつ（子ども用）、生理用品等
*お米、海苔、アルコールは受け付けできません

食料品をお渡します

- ▶対象となる方
丹波市在住の経済的な理由で生活にお困りの世帯
- ▶お申込み期間
7月8日(月)～7月25日(木)
- ▶お渡し日時
8月8日(木)・9日(金)
午前8時30分～午後5時15分
- ▶お渡し場所
丹波市社協各支所・分室
（申し込みの際にお伝えください）

【お申込み・お問い合わせ】
丹波市社協 地域福祉課 86-7171



お申込みは、電話もしくは二次元コードを読み取っていただき、Googleフォームで受け付けています

男性料理教室ボタンの会

これえだ ひろあき
代表 **是枝 博昭**さん (柏原地域)



わたしのまちの
ほっと
さん

ぜひ一度覗いてみてください

興味や関心があれば、見学からでもいいので、気軽に覗いてみてください。
みんな和気あいあいと活動しています。
男性の参加をお待ちしております。

入会して変わったこと

私自身、県外から引っ越してきて、知人の紹介で入会しました。入会して変わったことは、今あるもので料理ができる柔軟性が身に付いたことありますが、つながりが増えたことです。同じ会の仲間はもちろんのこと、他の団体の方との交流もあり、色々な活動へ参加するきっかけにもなっています。

活動を通して、色々な方とお出会うことで、刺激になり、生活リズムも整い、毎日楽しく過ごせています。

男性料理教室ボタンの会

毎月第4月曜日 9:30～12:00
柏原福祉センター 調理室



男性料理教室ボタンの会では、毎月料理教室を開催し、福祉施設の環境整備活動などにも取り組まれています。

ご案内

社協が行う講座や事業のご案内です。参加してみませんか？

くらし応援隊養成講座 受講者募集

受講料
無料

くらし応援隊とは

高齢者が住み慣れた地域（自宅）で安心して生活をするために、お部屋の掃除や買い物・ゴミ出しなどの生活の困りごとを支援する有償ボランティアです。自身の健康のために何かしたい方、地域に貢献したい方、くらし応援隊に興味のある方、ぜひ講座にご参加ください。

▶日時 (第1～3回の内容は同じです。ご都合の良い回を選んで受講してください)

第1回 8月29日(木)・30日(金) 春日福祉センター
(ハートフルかすが)

第2回 11月20日(水)・22日(金) 氷上住民センター

第3回 3月19日(水)・21日(金) 柏原住民センター

時間はいずれも午前10時～午後3時45分

▶お申込み・お問い合わせ

丹波市社協 丹波市ふだんのくらしサポートセンター
電話 080-8546-8013 または 080-8546-8014
メール fukusapo@tambawel.jp (①氏名 ②住所 ③連絡先 ④参加希望回)
*参加希望日の前日までにご連絡ください。

▶講座内容

【1日目】 くらし応援隊とは
福祉講演会
～夢こらぼ主宰松尾弥生氏～
先輩応援隊との交流

【2日目】 接遇・コミュニケーション
認知症・公衆衛生について
受講者同士の交流
修了式

地域にあなたの力を！

